

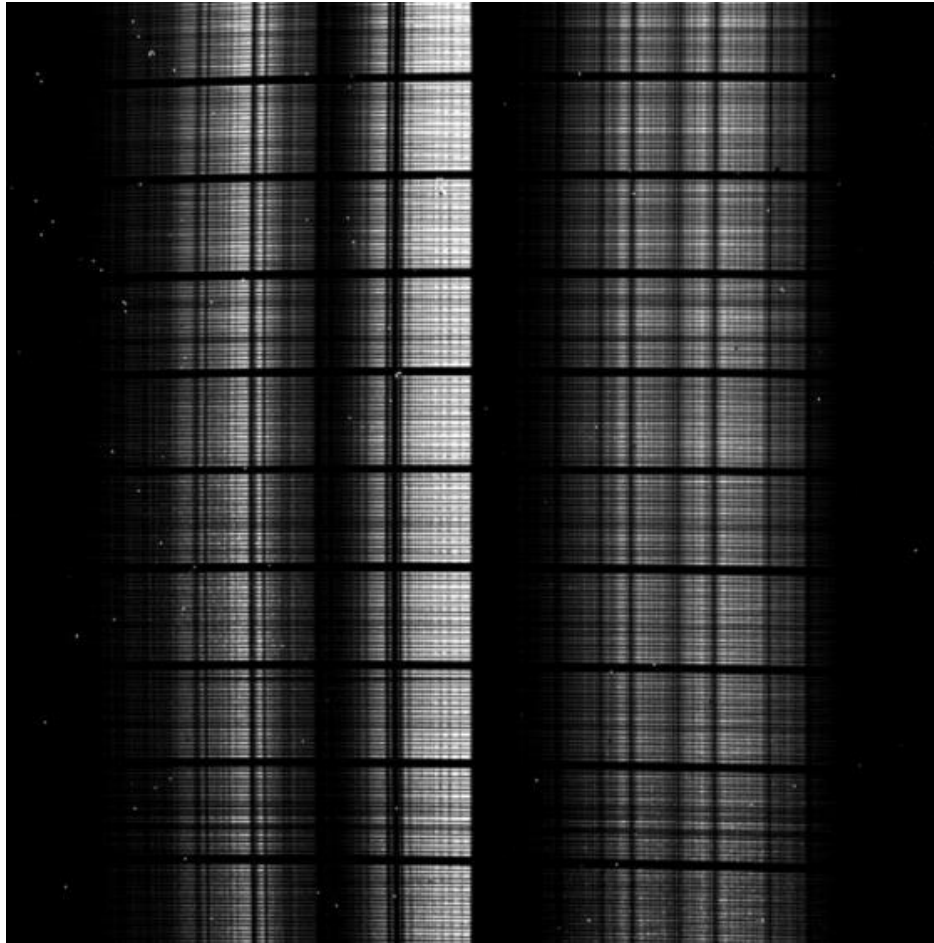
第一回 ハワイ観測所所有 の遊休赤外線検出器 譲渡希望の公募について

柳澤顕史、西村徹郎、高遠徳尚、
服部 堯、吉田道利
(国立天文台・ハワイ観測所)

遊休検出器譲渡事業

- 過去に観測装置に使用され、現在は使われていない赤外線検出器（**遊休検出器**と呼びます）を日本の天文学コミュニティに**無償で譲渡**いたします。
- 本事業は、遊休検出器を有効活用することで、天文学の発展、特に日本の大学を中心とした観測装置開発に貢献することを目的としています。
- 今回の公募では、譲渡より3年を目途に観測を開始し、5年を目途に研究成果を公開できる計画を支援します。
- 譲渡を希望される方は、申請してください。

譲渡検出器と数量



- HAWAII-2 PACE
2040x2048
- Science Grade
Array
- 1 個
- FMOS IRS1 に使用
されていた検出
器です。

FMOS IRS1 検出器のドームフラット画像

応募資格、要領、提出書類

- 応募資格
 - 大学および公立と認められる研究機関に所属する者
 - 国立天文台ハワイ観測所所長の認めた者
- 応募要領
 - 公募案内ページに掲載してある。
<http://www2.nao.ac.jp/~kyanagisawa/irdet/koubo.html>
- 申込に必要な書類
 1. 検出器活用計画書(使用目的と科学的意義等を記載)
 2. 検出器管理計画書(検出器本体、駆動情報の管理計画を記載)
 3. 主要な装置論文(3編以内)

締め切り、問い合わせ先

- 申し込み締切日
 - **2019年11月22日（金曜日）**
 - 10:00 (日本時間) 必着
- 公募の問合せ先
 - 国立天文台ハワイ観測所
 - 担当：柳澤
 - TEL: 0422-34-3900 ext. 3530
 - E-mail irdet@naoj.org

審査の流れ

- 検出器活用計画
 - ハワイ観測所長が指名する委員と、すばる科学諮問委員会が推薦する者が審査
- 検出器管理計画
 - ハワイ観測所長が指名する国立天文台職員により審査
- ハワイ観測所長が審査結果をもとに譲渡先を内定する
- 申請者には選考結果を通知。コミュニティには採択された提案の概要を公開。

譲渡手続き、その他

- 譲渡先が内定した後、譲渡先への検出器の輸出手続きを開始する。事務書類には最終使用者の署名を要するものが含まれるので協力を。
- 手続き開始後、譲渡が困難であると判断した場合は内定を取り消す場合があります。
- 譲渡を受けたグループおよび所属機関は、諸法令・規制等に厳格に従って当該検出器の一切の管理責任を負う。
- 検出器を譲渡された研究者は、譲渡より観測装置がデコミッションするまで毎年度末にハワイ観測所に研究報告書を提出していただきます。
- ハワイ観測所からの技術サポートは極めて限定的になる見通しです。自助努力（他グループとの協力含む）で何とかしてください。

今後の公募について

- なおハワイ観測所には今回の公募対象の検出器のほかに、**若干量**の遊休検出器があります。
- これらの検出器については、機会を改めて公募する予定（詳細未定、来年度以降）です。
- 新しく装置開発に参加したい方（グループ）の支援も計画しています。